

問1 「立憲主義」の考え方に基づいた、憲法の主な役割についての説明として最も適切なものはどれか。（2017年 和歌山公立入試 類似）

1. 政治権力を握る者を憲法によって拘束し、独断による支配や国民の権利侵害を防ぐ役割。
2. 国民が社会生活を送る上で守らなければならない義務を、法律よりも厳格に定める役割。
3. 国のリーダーが政策を迅速に実行できるよう、行政の権限をできる限り拡大する役割。
4. 多数決によって決定された事項であれば、いかなる理由があっても国民に強制する役割。

問2 日本国憲法の前文には、「日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を自覚するのであつて、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した」という一節があります。この考え方が示している平和主義の背景として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 熊本県公立入試 類似）

1. 過去の戦争の惨禍を反省し、二度と戦争を繰り返さないという決意に基づき、平和のうちに生存する権利を確立しようとした。
2. 冷戦下における軍事同盟の強化を目的とし、国際連合の主導によって他国と共同で武装を維持しようとした。
3. 明治憲法において天皇に軍の指揮権があったことを継承し、国民が主体となって軍力を管理する仕組みを作ろうとした。
4. 経済発展を最優先とするために、外交努力をすべて廃止して孤立主義を貫くことを国家の基本方針とした。

問3 日本国憲法の改正手続きが、通常の法律の制定や改正の手続きに比べて厳格に設定されている理由と、その仕組みについて述べた説明として最も適切なものはどれですか。（2018年 群馬県公立入試 類似）

1. 憲法は国の最高法規であり、時の政権や一時的な多数派の判断によって容易に変更されないようにするため、各議院の総議員の3分の2以上の賛成を要件としている。
2. 国民の基本的な人権をより迅速に守るため、衆議院で3分の2以上の賛成があれば、参議院の議決や国民投票を経ずに改正できるようにしている。
3. 予算の審議と同様に衆議院の優越を認めることで、政治的な停滞を防ぎ、各議院の総議員の3分の1以上の賛成で発議できるようにしている。
4. 地方自治の特別法と同様の仕組みをとり、特定の地域住民の過半数の同意があれば、国会の議決なしに憲法を改正できるようにしている。

問4 日本国憲法が定める「国民主権」と「選挙」の関係性について、政治の仕組みの観点から述べた文として、背景や目的を正しく説明しているものはどれですか。（2018年 福岡県公立入試 類似）

1. 主権者である国民が直接すべての法律を制定するのは困難であるため、選挙で選ばれた代表者を通じて国民の意思を政治に反映させる間接民主制が採られている。
2. 天皇が政治の全責任を負う仕組みを補佐するために、国民が選挙を通じて助言を行うことが義務付けられている。
3. 国民主権の原則に基づき、国民全員が公務員として働くことで、個人の利益を政治に直接反映させることを目的としている。
4. 選挙は国民の義務であり、投票を行わない場合は主権を放棄したものとみなされ、政治に意思を反映させる権利が失われる仕組みである。

問5 日本が自衛隊を海外へ派遣し、道路の補修や医療支援、停戦の監視などの活動を行う背景にある目的として、最も適切なものはどれですか。（2017年 香川県公立入試 類似）

1. 国際社会の平和と安全に寄与し、日本としての国際貢献を果たすため
2. 同盟国の要請に応じて、紛争地域での直接的な戦闘に参加するため
3. 海外の資源を確保するために、特定の地域を軍事的に支配するため
4. 国内の治安が悪化した際に備えて、海外で警察権の行使を訓練するため

問6 国民が法を制定し、その法に基づいて政府が政治権力を行使することで、最終的に法が国民を保護するという関係性が見られる政治体制において、この「法」が制限しようとしている対象として最も適切なものはどれですか。（2023年 島根公立入試 類似）

1. 政治権力の濫用
2. 国民の表現の自由
3. 裁判所の独立性
4. 社会福祉の拡充

問7 主権を持つ国民が直接選んだ議員によって組織される国会は、国の政治における重要な問題を審議する場であり、それゆえ「国権の最高機関」と呼ばれます。この「最高機関」という言葉が持つ、政治的な意味として最も適切なものを選んでください。（2024年 山形公立入試 類似）

1. 国民の意思を最も直接的に反映する機関として、政治において尊重されるべき地位にあること
2. 内閣や裁判所といった他の独立した機関を、完全に従わせることができる絶対的な権力を持つこと
3. 天皇の権限を代行する機関として、国のすべての決定を自由に行うことができること
4. 他の国家機関が行う予算の執行や判決に対して、すべて事後に承認を与える義務があること

答え合わせ・解説

問1	答え 1 政治権力を握る者を憲法によって拘束し、独断による支配や国民の権利侵害を防ぐ役割。	立憲主義は「最高法規」である憲法によって、総理大臣や国会などの政治権力をコントロールしようとする考え方である。たとえ選挙で選ばれた権力者であっても、憲法に反する行為は許されない。これにより、時の政権の都合で国民の権利が不当に奪われないような仕組みが作られている。
問2	答え 1 過去の戦争の惨禍を反省し、二度と戦争を繰り返さないという決意に基づき、平和のうちに生存する権利を確立しようとした。	日本国憲法の平和主義は、第二次世界大戦による甚大な被害と深い反省から生まれました。前文では、すべての国民が恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利（平和的生存権）を有することを確認しており、二度と政府の行為によって戦争の惨禍が起こらないようにすることを目的としています。
問3	答え 1 憲法は国の最高法規であり、時の政権や一時的な多数派の判断によって容易に変更されないようにするため、各議院の総議員の3分の2以上の賛成を要件としている。	憲法は国家権力を制限し、国民の権利を保障する最高法規です。そのため、通常法律（原則として出席議員の過半数で成立）よりも改正が難しい「硬性憲法」としての性質を持っています。国会の発議に「総議員の3分の2以上」という高いハードルを課しているのは、幅広い合意形成を求めることで、慎重な議論を促し、民主主義の根本である憲法の安定性を維持するためです。また、最終的な決定権を主権者である国民の投票に委ねている点も重要です。
問4	答え 1 主権者である国民が直接すべての法律を制定するのは困難であるため、選挙で選ばれた代表者を通じて国民の意思を政治に反映させる間接民主制が採られている。	日本国憲法は国民主権を掲げていますが、現実には国民全員が集まって議論を行うことは難しいため、選挙によって選ばれた代表者が国会などで議論を行う「代表民主制（間接民主制）」を採用しています。選挙は、主権者である国民が自分の意見に近い代表者を選ぶことで、間接的に「国民の意思」を政治に反映させるための最も重要な機会です。
問5	答え 1 国際社会の平和と安全に寄与し、日本としての国際貢献を果たすため	日本は憲法の平和主義の理念に基づき、軍事力による解決ではなく、人道的な支援やインフラ整備などを通じて世界の平和に貢献することを目指しています。1992年に制定された国際平和協力法（PKO協力法）などに基づき、自衛隊が派遣される活動は、国際社会の一員としての責任を果たすための重要な取り組みです。
問6	答え 1 政治権力の濫用	法の支配の目的は、法によって権力行使に枠組みを設けることで、政治権力が暴走して国民の人権が侵害されるのを防ぐことにあります。政治権力を制限することで、結果として国民一人ひとりの自由と権利が保障される仕組みになっています。
問7	答え 1 国民の意思を最も直接的に反映する機関として、政治において尊重されるべき地位にあること	憲法が定める「国権の最高機関」という表現は、三権分立の原則を否定して国会が内閣や裁判所より法的に上位にあることを意味するものではありません。主権者である国民によって選ばれた代表者で構成されるため、民主主義の観点から「国の政治において最も中心的な地位を占める機関」であることを政治的に強調した概念（政治的美称説）として解釈されています。